

2024年9月17日
商工中金

地域金融機関と協調し、BCP対策に取り組む四国石油株式会社に対し、シンジケートローン形式で災害対応型コミットメントラインを締結

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業組合や中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、積極的にサポートしています。

商工中金（高松支店）は、四国石油株式会社（本社：香川県高松市、代表者：国東 宣之）に対し、シンジケートローン形式での災害対応型コミットメントライン（※）12億円を開設しました。本シンジケートローンは、商工中金がアレンジャーを、百十四銀行がコ・アレンジャーを務め、香川銀行、香川県信用組合、高松信用金庫、高知銀行が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。なお、本件は、商工中金が取り組むシンジケートローン形式の災害コミットメントラインとして四国初となります。

同社は、香川県内でガソリンをはじめとする石油製品やLPガス、電力の販売等を手掛けています。2023年3月には「かがわ地方創生SDGs登録制度」（※1）の登録事業者として登録されるなど、持続可能な社会に向けて積極的に取り組んでいます。

（※1）香川県が実施するSDGsの達成に向けて積極的に取り組む企業や団体等の登録制度

今回、同社は日本各地で相次ぐ自然災害発生時のBCP対策のため、大規模自然災害の発生等が金融機関の貸付不能事由になりうる一般的なコミットメントラインではなく、地震等の大規模自然災害発生時にも安定した資金調達が可能な「災害対応型コミットメントライン」の導入を計画しました。これにより、大規模自然災害発生時においても販売先の要望に迅速かつ柔軟に対応できるよう、円滑な資金調達手段を確保して事業の継続性を高め、ステークホルダーからの信頼を高めていきます。

商工中金は、現地訪問や経営者へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を行い、同社の強みや財務上の課題を共有。災害時にも販売先への安定供給が求められることを確認し、同社のBCP対策の一環として、災害発生時にも安定して資金調達が可能な災害対応型コミットメントラインを開設しました。また、BCP対策を行う同業他社との意見交換の場の設定など、BCP計画の作成支援も行いました。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、関係機関等と連携してサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

【四国石油株式会社の概要】

所在地	香川県高松市藤塚町1-3-28	資本金	2,000万円
代表者	国東 宣之	従業員数	133名（2024年9月時点）
業種	ガソリンスタンド運営、石油、ガス卸売	設立	1951年12月

【シンジケートローン形式・災害対応型コミットメントライン契約(※)の概要】

コミット総額	12億円
アレンジャー兼エージェント	商工中金
契約締結日	2024年9月9日
コミット期間	2024年9月17日～2025年9月16日(更新OP4回)
特徴	<u>香川県における震度6弱以上の地震発生時や、1時間当たり降水量80mm以上の降水発生時にも、コミット総額の範囲内であらかじめ定められた条件に基づき迅速な資金調達が可能。</u>
参加金融機関	商工中金 4.5億円 百十四銀行 3.0億円 香川銀行 1.5億円 香川県信用組合 1.5億円 高松信用金庫 1.0億円 高知銀行 0.5億円

(※) コミットメントラインとは、企業と金融機関があらかじめ設定した期間・融資枠の範囲内で、企業が随時借入を可能とする契約です。一般的なコミットメントラインでは、震災等の大規模災害時には金融機関の貸付不能事由とされているため、企業にとって大規模災害発生直後の資金確保に困難が生じる可能性があります。一方、災害対応型コミットメントラインは、一定規模以上の震災等について金融機関の貸付不能事由から除外した契約となっているため、震災等の異常事態発生時も含めて、融資枠の範囲内であれば、あらかじめ定められた条件に基づき迅速な資金調達が可能となります。